

1. <施策の概要>

基本構想	活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり	統括課	事業部・建設課
基本計画	道路・公共交通		
施策	道路	関連課	事業部・都市整備課
方針・目標等	◆主要幹線や生活道路の整備推進 ◆防災に強いまちづくり ◆利便性の向上と安全で快適な道路環境整備		
実施内容	◆住民との協働による施設維持管理 ◆重点化政策にかかる道路整備 ◆下水道整備に併せた道路整備 ◆クリーンパートナー制度を活用した住民協働の推進 ◆橋りょう長寿命化修繕計画の策定 ◆橋りょう長寿命化修繕計画に基づく適切な維持管理		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等			
				団体名	実績/年度				
①	○	クリーンパートナー制度登録団体数	団体			建設課調べ			
②	○	道路網の快適さ満足度 ※総合計画策定に向けた住民意識調査項目	%			企画調整課調べ			
③		道路改良率(町道全延長)	%			改良済み道路延長/道路延長			
④		道路舗装率(町道全延長)	%			舗装済み道路延長/道路延長			
⑤									
				H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(試算)	H27(試算)
①	目標			9	14	15	16	17	18
	実績			9	14	15	16		
②	目標			-	-	-	-	-	-
	実績			-	58.3	-	-		
③	目標			54.0	54.5	54.5	54.5	55.0	55.0
	実績			53.3	53.5	53.8	54.6		
④	目標			79.8	80.0	80.0	80.0	80.5	80.5
	実績			79.8	79.9	80.0	80.2		
⑤	目標								
	実績								

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・平成25年度でクリーンパートナーへの登録が16団体となり、順調に登録数が増加しており、地域住民の方による環境美化活動への理解が高まりつつある。

・生活道路においては、旧市街地に依然狭隘な道路があるものの舗装整備については比較的高い水準を維持している。しかし、町全体を見た場合山間部にある道路や農道的な道路についても町道認定していることから道路改良率や道路舗装率が伸びていない状況である。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・通学児童の安全確保を図るため、歩道の整備を順次進めている。また、生活道路の整備については地元自治会等の要望を受け、整備を進めているところではあるが、旧市街地については家屋等が建ち並び道路幅が困難な状況である。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1	○	建設課	116,204	140,747	142,968	155,838	132,841	132,841
		道路維持管理事業	99,530	123,084	119,875	135,977	112,980	112,980
		一般事業 159	99,408	122,960	119,759	135,851	112,838	112,838
2	○	建設課	191,658	32,127	22,490	41,061	268,752	268,752
		道路改良事業(交付金分)(建設課)	175,260	27,950	18,917	35,809	263,500	263,500
		投資的事業 161	106,867	2,777	2,596	7,661	26,209	26,209
3	○	建設課	-	-	-	89,742	-	-
		道路改良事業(交付金分)(建設課)(繰越)	-	-	-	78,416	-	-
		161	-	-	-	0	-	-
4	○	都市整備課	-	-	10,016	20,131	39,831	-
		道路改良事業(交付金分)(都市整備課)	-	-	2,374	13,500	33,200	-
		投資的事業 161	-	-	168	625	1,497	-
5	○	都市整備課	-	-	-	12,386	-	-
		道路改良事業(交付金分)(都市整備課)(繰越)	-	-	-	10,420	-	-
		163	-	-	-	0	-	-
6	○	建設課	3,157	3,376	3,433	2,802	-	-
		緊急雇用対策事業(道路・公園事業)	2,437	2,947	2,940	2,477	-	-
		113	0	0	0	0	-	-
7	○	建設課	1,046	1,251	1,562	551	721	721
		道路橋りょう総務事務費	645	1,056	1,306	302	472	456
		一般事業 159	645	1,056	1,306	302	472	456
8	○	建設課	22,704	30,245	28,636	11,540	11,717	11,717
		道路新設改良単費事業	20,607	26,381	24,016	9,973	10,150	10,150
		投資的事業 161	0	26,381	0	0	0	0
9	○	建設課	-	-	-	45,052	-	-
		道路安全対策事業(防災・安全交付金)(繰越)	-	-	-	39,351	-	-
		163	-	-	-	0	-	-
10	○	建設課	-	-	-	12,564	-	-
		橋りょう長寿命化修繕計画策定事業(防災・安全交付金)(繰越)	-	-	-	11,000	-	-
		163	-	-	-	0	-	-

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・道路改良事業(交付金分)では、交通安全対策として歩道整備を実施し、通学児童など歩行者の安全確保が図れた。 ・道路新設改良の単独工事では、旧市街地の下水道工事と併せた道路整備を進めることにより、効率的に整備を行い、住環境と利便性の向上が図れた。 ・今後、道路整備事業については限られた財源で効率的な効果を発揮するため、整備路線の選択と集中を行い整備を進める必要がある。 ・道路維持管理事業においては、新市街地からの要望や意見などが多くあり、それらに対応する維持事業が発生している。

5. <施策の今後の方向性>

・旧市街地の道路整備、集落間道路の整備、特に山手幹線、国道163号、1級河川煤谷川整備に伴う地元要望の道路整備を重点的に推進していく。 ・通学路の歩道整備や下水道整備と併せた道路整備を引き続き進めていく。 ・道路の維持管理について、旧市街地はもとより桜が丘、光台等の新市街地についても、今後、舗装、道路照明等の道路附属施設について老朽化が見え始めており予防的及び計画的な修繕を行い、安全で快適な道路環境の保全に努める。 ・今後老朽化する道路橋梁については、予防的及び計画的に修繕を行い、道路橋の延命化を図ることで、維持管理コストの縮減を図る。 ・今後においても精華町クリーンパートナー制度を通じて、住民との協働による維持管理体制の充実を図り、施設の適切な維持管理に努める。